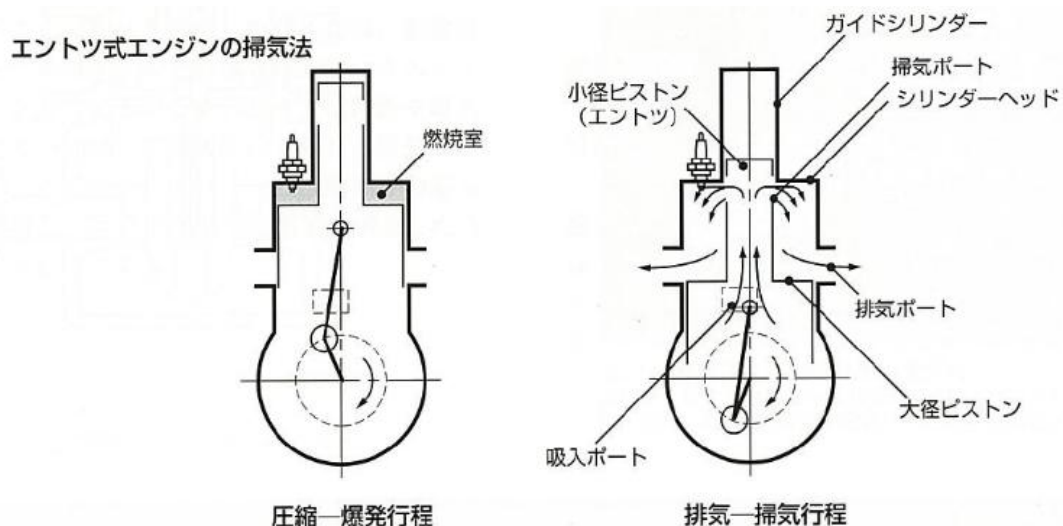


## 1947年 Bicycle Engine First Prototype Engine 第1号試作エンジン

部品点数が少なく構造が簡単で加工工数が少ない2ストロークエンジンを採用した、「第1号試作エンジン」。凸型のピストンと凸型シリンダーヘッドが煙突のようになっていたため、社内ではエントツエンジンと呼びました。

従来の2ストロークエンジンで問題だった出力と燃費を大きく向上させるため、独創的な技術を反映。中央掃気という独特の構造は、理論的には優れた性能を発揮するはずでしたが、当時の加工技術や精度では満足いく結果が得られませんでした。また、加工も難しく、信頼性や耐久性も見通しが立たないため2基の試作で打ち切りに。販売に至りませんでした。



### 主要諸元

エンジン形式	2ストローク単気筒 ピストンバルブ
排気量	50cc
最高出力	1.0PS/4,500rpm